

事業所名

児童発達支援事業 松ぼっくり

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和7年

2月

3日

法人(事業所)理念		地域社会の中で暮らし、家族とともに歩み自らが望む生活を営むことができることを願い、障がいや有するもの自身とその家族、地域、行政との協働の拠点となる					
支援方針		基本的な生活習慣の確立やあそびの拡がり、人との関わりの育ち、適切なコミュニケーションの確立などを目指し、小集団あるいは個別で一人ひとりの発達に沿って支援を行います。ご家族と一緒にお子さんの特性を確認し、お子さんに合った関わり方や具体的な支援の方法を考え、お子さんが何をやるのかがわかって安心して取り組める設定をしていきます。					
営業時間		9時	55分から	11時	35分まで	送迎実施の有無 なし	
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を整える支援を検討します。(構造化や手順書の使用、パーティションなどの利用) ・生活スキルの獲得につながる活動を取り入れます。(衣類の畳み、雑巾絞り、配膳など) ・手洗いの習慣化に取り組みます。 ・避難訓練をグループ内で実施します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大:背伸び、雑巾がけ、手押し車、しゃがむ、バランスボール、トランポリン、縄跳び、ボール、模倣。(体幹へのアプローチをすることで姿勢保持につながり、両手がフリーになり操作性があがる、着席時間が伸びるなどが考えられます) ・巧緻:はさみ、鉛筆を正しく持つ、ボタン、ピルケースの開閉、ペグ刺し、ピンセット、両手動作や目と手の協応(紐通し)、シール貼り、折り紙、洗濯ばさみなど手指を使う作業に取り組みます。 ・感覚特性への配慮をします。(パーティションの使用、活動場所や時間を分けるなど) 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・自立的、自発的行動を促すために、具体物や写真カード、文字など本人にあった素材を使用して、スケジュール、手順、順番を伝えます。 ・着席のイラスト、人の話を聞くときのルールやマナーのカード、声のボリューム表などを使用していきます。 ・お子さんに合った支援をし、自分でできた達成感を感じられるよう取り組みます。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚的支援をします。(写真カードやイラストなどを使用し、具体的に見せて伝えながら言葉を添えます) ・相手に向かってスムーズに伝えるためのヒントを提示します。(あけてカード、手伝ってカードなど) ・絵本や歌(ペープサート)などを取り入れ、ことばの獲得や、聞く力を育てることに取り組みます。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・アタッチメントに対する取り組みをします。(発達特性に合わせた環境調整と配慮) ・自己肯定感を育めるようスモールステップで成功体験を積めるような支援を検討します。 ・取り組む前に社会的なルールやマナーを視覚的に伝え、職員と確認してから始めます。 ・人から学ぶ姿勢作りに取り組みます。(次にできるようになるとよい課題を職員と1対1の設定で行います) ・物の共有→並行あそび→共同あそびへとつながるよう支援を検討します。 					
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の機会として懇談会を実施します。 ・家庭訪問、発達や特性理解に向けた相談援助、きょうだいへの相談援助、勉強会や公開講座を開催しています。(法人主催) ・グループ活動中に、保護者からの相談に対する助言などを行います。 ・親子での通所を実施しています。(支援の様子をその場で確認し、ご家庭でも取り入れられるようご家族に説明をしています) 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園や保育園での生活の支援としてご家族からの依頼に応じて訪問をします。(お子さんの行動観察、園との情報交換) ・幼稚園や保育園の先生方に当事業所へ足を運んでいただき、支援の見学や情報交換をします。
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援と同様。 ・法人主催のまつりの実施による地域交流を実施しています。 ・相談支援事業所、教育委員会、家庭こども相談室(大和市)との情報共有や連携をしています。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修、eラーニングの視聴、事業所内研修(虐待、身体拘束、BCPなど)、ケース検討、支援会議、人材育成(OJT)などに取り組んでいます。
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた制作や活動を実施しています。 ・避難訓練を実施しています。 					

事業所名

放課後等デイサービス 松ぼっくり

支援プログラム(参考様式)

作成日

令和7年

2月

3日

法人(事業所)理念		地域社会の中で暮らし、家族とともに歩み自らが望む生活を営むことができることを願い、障がい有するもの自身とその家族、地域、行政との協働の拠点となる。									
支援方針		理解して自立的に行動できるような環境設定や支援をしています。また、適切なコミュニケーションを取るためのルールやマナーについての学習、将来の生活に役立つ家事スキルの獲得、そして生活が豊かになるように余暇支援をしています。									
営業時間		15 15	時	25 55	分から	17 17	時	05 35	分まで	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみを整える支援をします。(鏡やイラストで確認するなど) ・家事スキルの獲得や、お手伝いに取り組みます。(食器洗い、洗濯機や掃除機の使い方、道具の整理、簡単な修繕など大人に頼まれたことに取り組む) ・余暇の充実を目指した支援を提供します。(楽器、工作、手芸、運動など) ・避難訓練をグループ内で実施します。 									
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・全身運動・姿勢の保持などを支援します。(体力測定、縄跳び、ダンス、フラフラップ、ボール、ラケットを使う運動など) ・巧緻動作に取り組みます。(ビーズアクセサリ作り、スポイト、工具、手芸) ・感覚に特性のある児童への配慮をします。(パーティションの利用、イヤーマフの使用、時間の設定の仕方など) 									
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・特性に合わせた学習方法や、関わり方の工夫を検討し実施します。(大人と1対1で学習、ワークシステムや手順書などの利用) ・自分でできることを増やすことに取り組みます。(発達段階に合わせた視覚支援や道具の使用、スケジュール、手順書などの利用) 									
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・聞く力の形成の支援をします。(グループや職員との話し合いなど) ・適切な表現で相手に伝えるa練習をします。(イラストや文字などを使ったコミュニケーション支援) ・始まりの会や終わりの会での発言や、司会の機会の提供をします。 ・自分の練習したことの成果について発表の場を持ちます。 									
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・人との距離感について学習します。(イラストの提示) ・勝敗のある場面での適切な振舞い方について事前に確認しルールを守って参加することに取り組みます。 ・公共の場での適切な振る舞い方やマナーの学習に取り組みます。(動作見本、イラスト、手順書などを使用します) 									
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の機会として懇談会・参観日を実施します。 ・家庭訪問や発達や特性理解に向けた相談援助、きょうだいへの相談援助、勉強会や公開講座を開催しています。(法人主催) 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、児童クラブへの訪問をご家族の依頼に応じて実施します。(お子さんの行動観察、小学校との情報交換) ・お子さんの所属機関からの見学を受け入れています。(支援の見学や情報交換など) 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援と同様 ・法人主催のまつりによる地域交流を実施しています。 ・相談支援事業所、教育委員会、家庭子ども相談室(大和市)との情報共有や連携をします。 				職員の質の向上		外部研修、eラーニングの視聴、事業所内研修(虐待、身体拘束、BCPなど)、ケース検討、支援会議、人材育成(OJT)などに取り組んでいます。			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合わせた制作や活動を実施します。 ・夏休みイベント(他グループの児童と一緒にあったり、内容により、外部講師を依頼しています。それにより地域資源の活用につながるが考えられます) ・避難訓練を実施します。 									